

令和4年第1回長南町地方創生総合戦略推進委員会

日 時：令和4年12月19日（月）13：30～14：20

場 所：庁舎分館2F第1会議室

出席者：池田委員長、石毛委員、藤原委員、川崎委員、織本委員、中村委員

欠席者：中橋委員、手嶋委員、齊藤委員、松野委員、森川委員、田中委員、
山崎委員、磯野委員

事務局：町長（企画政策課）河野課長、田中主幹、渡邊補佐、大村

1. 開 会（事務局 渡邊）13：30

2. 町長挨拶（平野町長）

本日はご多忙のところ第1回長南町地方創生総合戦略推進委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、新任の藤原委員、川崎委員よろしくお願ひします。

さて、地方創生総合戦略については、令和3年度より、人口減少対策・地域活性化についての重点施策を位置づけた第2期総合戦略がスタートしました。本計画については、令和7年度までの5年間の計画期間となっており、本日は計画年度の1年目となる令和3年度の進捗状況について、ご報告をさせていただきます。

また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、令和2年度より感染症拡大防止や地域経済、住民生活を支援するため、様々な事業を行ってまいりました。本日は本交付金を活用した事業について、内閣府より効果検証の実施を求められておりますので、終了している令和2年度、令和3年度の効果検証についてご説明をさせていただきます。本日はよろしくお願ひいたします。

3. 委員長挨拶（池田委員長）

委員長を務めさせて頂いております池田と申します。

本日は皆様ご多忙の中、出席頂きまして誠にありがとうございます。また、新任の藤原委員、川崎委員よろしくお願ひします。

さて、本日の議題は先ほどの町長の挨拶にもありましたように、第2期総合戦略についての進捗状況、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証といった2つの議題となります。

本日お集まりいただいた皆様は、それぞれの分野で経験豊富な方々となります。様々な視点からご意見をいただきたいと考えておりますので、皆様ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

4. 議 題 (池田委員長)

※長南町地方創生総合戦略推進委員会設置条例第6条第1項の規定により池田委員長を議長として進行

- (1) 第2期総合戦略の進捗状況について
- (2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

(1) 第2期総合戦略の進捗状況について

※資料1を用いて説明

(基本目標の数値目標の実績と主な事業のKPIについて、各基本目標から1つ抜粋し報告)

本年度開催した、各課の課長による「総合戦略推進本部会議」での、基本目標と主な施策・事業に対する令和3年度の進捗状況の実績をまとめた資料となる。推進本部会議において第2次総合戦略の事業内容については大きな変更等はなし。

【基本目標1 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする】

本町の農業産出額の項目ですが、H29年度の14.9億円を基準値とし、R7年度の目標値は21.4億円、最新の令和元年の実績として10.3億円と減少となった。

(市町村にある事業所における年間の)商品販売額は、H28年度の21.3億円を基準値とし、R7年度は21.3億円と現状維持が目標となっており、H29年度以降の最新値が公表されていない。本町の製造品出荷額は、H29年度の417.6億円を基準値として、R7年度目標値476.1億円となり、最新の令和元年度実績として358.7億円と減少となる。

(施策2) 地場産業の競争力強化

長南産コシヒカリPR回数は、基準値、目標値ともに11回に対しR3年度の実績は3回となる。これは新型コロナウイルス感染症によりR2～R3年度におけるイベントが中止となったため大幅に目標を下回ることとなった。

【基本目標2 地方への新しいひとの流れをつくる】

交流人口(1日あたりの流入人口、通勤通学者と観光地点におとずれた入込客をカウントした値)は、基準値3,641人に対し、R7年度目標値3,900人、R2年度における最新値として3,371人となる。

(施策2) 長南町への移住・定住の促進

移住定住の促進の中の奨励金制度による住宅取得件数は、基準値8件、R7年度目標値10件とする中、R3年度は11件の奨励金活用の実績があった。このうち半数の6件が町外からの転入者となった。

【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

15歳～49歳までの年齢別出生率を合計した、合計特殊出生率については、H30年度合計特殊出生率1.11対し、R7年度目標値1.22となり最新のR2年度実績値として0.89となった。

(施策2) 次代を担う子どもへの教育の充実

ICT活用の授業時間数は、基準値小学校105時間、中学校35時間、R7年度目標値小、中学校共に105時間に対し、R3年度実績小学校105時間、中学校70時間となった。小学校についてはH29年度より児童に1人1台タブレット端末の導入や電子黒板等を導入していたことから、目標値に達している。中学校においても、コロナ交付金を使用し、R2年度に1人1台タブレットの導入、R3年度に電子黒板を導入していることからICT活用の時間数が増加する結果となった。

【基本目標4 次代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

巡回バスの利用者数は基準値1,862人に対し、R7年度目標値2,000人、R3年度の実績は1,648人となった。デマンドタクシー運行回数は、基準値の9,570回に対し、R7年度目標値10,000回、R3年度の実績は9,415回となった。自主防災組織のカバー率は、18.6%の基準値に対し、R7年度目標27.9%、R3年度の実績として18.2%となった。

(施策6) 安心で暮らしやすいまちづくり

自主防災組織数は、基準値11団体、R7年度目標値20団体、令和3年度の実績に11団体となった。R7年度の目標値を達成するため、区長会議での説明、長南町の広報での周知をしてきたが、同じことをしては11団体が伸びないということで、地域に出向き共助の必要性などを説明する中で組織化してもらえよう呼びかけることをしていくという方向性も本部会議で議論された。

【質疑応答】

池田委員長：ご質問、ご意見等ございますか。

織本委員：基本目標4の巡回バスの利用者数について、デマンドタクシーへの移行等により廃止も検討中となっているが、現在も検討中ということか。

事務局大村：来年度から巡回バスの廃止が決定となっています。

川崎委員：ほとんどの項目について減少しているが、計画策定時にコロナの影響等も考えて策定したのか。

事務局大村：令和2年度の策定となるので、コロナが始まった当初となるが、考慮しての策定となっている。

川崎委員：令和7年度の目標値へ向けての対応策を早急に考えていかなければ、目標値達成は難しいと思うので、検討をお願いします。

事務局大村：はい。推進本部会議の中で検討いたします。

石毛委員：目標値自体を見直すことは現在考えているのか。

事務局大村：本年度は計画年度の1年目ということですので、今後のコロナの状況を見て目標値の見直しについては、検討していきたいと思えます。

事務局田中：補足となりますが、策定当時はある程度回復基調になると見越して計画を策定したが、今後推進本部会議で検討していく中で、より現実的に現況を加味した目標値への多少の軌道修正もありうるということで、ご理解いただきたいと思う。

(2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証について

本交付金については、内閣府よりコロナ対応に効果的な対策であれば原則として用途に制限はないとの説明があったが、昨今、国会でコロナ交付金の用途にそぐわない事例等が取り上げられるなどしたため、内閣府より地方公共団体に対し、効果検証を実施するよう求められた。

※資料2-①を用いて説明

本町において令和2年度については、2億8千9百万が配分され、配分された交付金2億8899万円を使用し38事業を実施した。

令和3年度については、令和2年度の繰り越し分を含め、9900万円が配分され、9872万円を使用し21事業を実施した。

現在、令和4年度については、1億7600万円が配分され19事業を実施しているところである。

※資料2-②、2-③を用いて説明

実施事業の効果検証として、事業の対象別に抜粋し、抜粋した事業について、事業概要、実績、事業効果等を報告。

【町民の方への支援】

No.15 非接触体温計配付事業 (資料2-②令和2年度事業)

No.17 長南町地域応援券発行事業（資料2-②令和2年度事業）

※地域応援券発行事業に関しては令和3年度（資料2-③No.8）も実施実績あり。
令和4年度においても実施中となっている。

【事業者の方への支援】

No.7 事業継続支援金給付事業（資料2-②令和2年度事業）

No.11 公共交通応援事業（資料2-②令和2年度事業）

※公共交通応援事業に関しては令和3年度（資料2-③No.1）も実施実績あり。

【子どもたちへの支援】

No.8 GIGA スクール構想への支援事業（資料2-②令和2年度事業）

No.11 公立学校機器整備（電子黒板）（資料2-③令和3年度事業）

No.31 学校保健特別対策事業費補助金（資料2-②令和2年度事業）

資料2-②、2-③の事業の対象を見るとわかるように、交通事業者、介護福祉施設、医療従事者、介護施設職員、農業従事者、保育所、小・中学校、防災に備えた避難所での感染対策の準備等、様々な分野のみなさんを対象とし、まんべんなく支援がおこなえるよう、活用事業を考え、実施を行った。

R2、3年度の実施事業、それに伴う、実績、事業効果については、町HPへ掲載し、住民の皆様へ周知することにより効果検証とする。

【質疑応答】

池田委員長：ご質問、ご意見等ございますか。

川崎委員：資料2-①では令和2年度の事業数が38事業となっていますが、2-②では39事業載っておりますがこれはどういったことですか。

事務局大村：資料2-②の2ページ目にありますNo.19 ICT端末を活用した家庭学習のための環境整備について、事業は実施されませんでした。計画としてはあげていたため、掲載をしております。

池田委員長：他に意見はございますか。

（意見なし）

本日予定された議題については終了しました。

これで、議長の任を解かせていただきます。皆様のご協力で、スムーズな議事の進行ができましたことを感謝いたします。ありがとうございました。

5. 閉 会 14：20